

2013年8月30日掲載

「SNSでつながる」

現在、様々なSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が登場し、インターネット上で簡単に会話ができるようになった。見知らぬ人ともコミュニケーションが取れるようになった今、トラブルも起きるが、大切だと思うことが最近多々ある。

東日本大震災の際、私は岩手県で被災した。ライフラインが途絶えて携帯の充電ができず、メールも送受信できなかった。ようやくSNSに「無事です」と伝えられた時には、全国たくさんの方から励ましのメッセージなどをもらい、とても力づけられたことを昨日のように思い出す。

最近、震災後から疎遠になっていた岩手県陸前高田市の方ともつながった。地元で復興に向けた活躍をしていることを知りうれしさがこみ上げてきた。インターネット上で一瞬にして空白期間が埋まっていくのを感じた。

先月、どうしても仕事が休めない時に、息子が発熱して保育園に預けられないことがあった。SNSで現状を伝えたところ、以前仕事でお世話になった方がメッセージを見て預かってくれることになり、本当にありがたかった。別の方は札幌の病児保育の情報を教えてくれた。一気にたくさんの方と迅速なコミュニケーションを取ることができた。

直接会って会話をするコミュニケーションは大事だが、近況などを少し知ることができるだけでも、お互いのつながりは続くと実感している。新しいコミュニケーションの形をこれからも大切にしたい。（毎日新聞より）